



問 公共施設の管理・運営の現状と課題、効果的な推進体制は

・人口減少が進む中、公共施設の需要に変化が見られている。効果的な管理・運営をしているのか。
 ・ファシリティマネジメントを総合的に捉え、管理、活用する経営活動をどのように考えるのか。
 ・小中学生は6年後に約1,600人減少する予測がある中で、児童数減少による教育委員会の認識と課題について。時代に即した組織の見直しと将来のビジョンをどう考えているか、質問する。

答 様々な手法で、施設総量の適正化、管理運営の効率化を図る

人口が増加していた時代に建てられ、老朽化していく公共施設については総量や配置の適正化、経営の健全化といった課題がある中、津市公共施設等総合管理計画などを策定し、個別施設の再編等に取り組みしており、施設改修等の時期を捉え、機能の集約化、複合化などの手法を組み合わせ、諸課題の解決を図っていく。

教育委員会においては児童生徒数の減少により、集団生活の中で社会性を高めることが困難になることが予測されるが、地域の実情等を踏まえ、学校の適正規模については、子どもたちにとって最善の選択につなげられるよう判断していく。

その他の質疑・質問

- 津市西部クリーンセンター焼却施設修繕について、延命化と新炉建設の整備について
- 新たな時代に対応できる職員の人材育成について、E B P Mの考え方と政策立案の取り組みは
- 新エネルギー補助金事業の制度拡大の狙いは
- 地方創生臨時交付金の効果と検証について、雇用の維持と事業継続、また、経済活動の回復は

津市西部クリーンセンター焼却施設



問 マイナ保険証を持たない人の医療機関等の受診について問う

12月のマイナ保険証への移行に伴う健康保険証の廃止。将来的には、運転免許証も紐付けられ、1枚のカード、1つの番号への全ての情報の集約が進められている。非常に利便性が高い反面、紛失、盗難や情報漏えい、偽造の問題も起こっており、非常に心配である。マイナンバーカードの取得は任意であるが、マイナ保険証を持たない人の医療機関等の受診はどうなるのか。

答 資格確認書を医療機関等に提示することで受診できる

令和6年12月2日以降は、マイナ保険証によって医療機関等を受診していただくことが基本となるが、マイナ保険証をお持ちでない被保険者に対しては、現行の国民健康保険被保険者証の有効期限の前に被保険者証の代わりとなる資格確認書を送付するので、それを医療機関等に提示していただくことで、これまでと変わらず受診することができる。

なお、令和6年12月1日時点で手元にある有効な被保険者証は、12月2日以降有効期限まで最長1年間、使用することができる。

その他の質疑・質問

- 議案第79号 令和6年度津市一般会計補正予算(第2号)
- 承認第4号 専決処分の承認について
- 議案第80号 令和6年度津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 多文化共生社会について
- 太陽光発電について

マイナンバーカード、資格確認書の見本

